

卒業生に関するアンケート調査 結果報告

令和3年11月

広島文化学園短期大学

就職・キャリア支援センター

1 調査目的

卒業生就職先の企業等へ「求める人材の要件」等の調査を行い、教育の効果及び学生が修得した学修の成果等を把握し、その結果を本学の教育内容にフィードバックすることにより、更なる改善に資する。

2 調査期間

令和3年9月

3 調査対象

令和3年3月卒業生が就職した企業等

4 調査方法

自記式の調査用紙（記名式）

5 回収率

| 回答数 | 依頼数 | 回答率 |
|-----|-----|-------|
| 89 | 150 | 59.3% |

6 調査内容

- (1) 事業内容
- (2) 採用の際の重視度（3項目選択）
- (3) 卒業生の資質（5段階評価）
- (4) 改善すべき事項（自由記述）
- (5) 本学の教育内容・教授方法等についての意見（自由記述）
- (6) 本学の教育についての意見（自由記述）

※（2）（3）の選択肢

- | | | |
|---------------|----------------|---------------|
| ① 専門的知識・技能 | ② 一般常識・教養・マナー | ③ パソコン操作等の能力 |
| ④ 理解・判断力 | ⑤ 問題解決能力 | ⑥ 意欲・熱意 |
| ⑦ 学ぶ姿勢・向上心 | ⑧ 責任感・誠実性・粘り強さ | ⑨ コミュニケーション能力 |
| ⑩ 協調性・チームワーク力 | ⑪ その他 | |

7 調査結果

(1) 事業内容

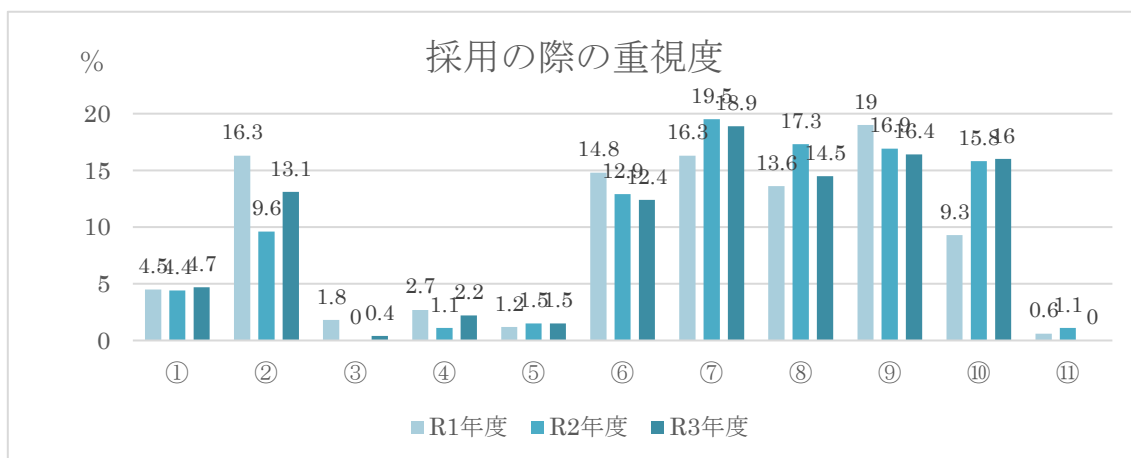
| ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | ⑦ | ⑧ | ⑨ | ⑩ | ⑪ | ⑫ | ⑬ | ⑭ |
|---|---|---|---|---|----|---|---|----|---|---|----|---|---|
| 1 | | | | | 12 | | | 10 | | 9 | 48 | | 9 |

- ①建設 ②製造 ③電気・ガス ④情報通信 ⑤運輸・郵便 ⑥卸売・小売
 ⑦金融・保険 ⑧不動産・賃貸 ⑨宿泊・飲食 ⑩娯楽 ⑪教育・学習支援
 ⑫医療・福祉 ⑬複合サービス ⑭その他

(2) 採用の際の重視度（3項目選択）

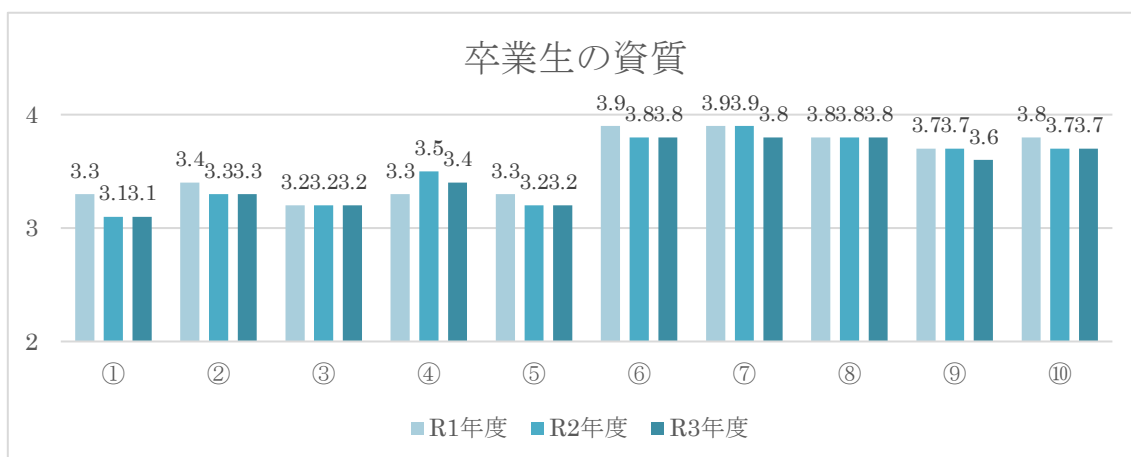
企業が採用時に最も重視される項目は「⑦学ぶ姿勢・向上心」である。続いて「⑨コミュニケーション能力」「⑩協調性・チームワーク力」である。

一般的にコンピテンシーの要素（⑥～⑩）がリテラシーの要素（①～⑤）よりも重視されており、令和元年度と令和2年度も同様である。



(3) 卒業生の資質（5段階評価）

卒業生の資質についての評価結果は5段階評価で3.0から3.8である。評価が最も高いのは「⑥意欲・熱意」「⑦学ぶ姿勢・向上心」「⑧責任感・誠実性・粘り強さ」であり、逆に評価が最も低いのは「①専門的知識・技能」である。一般的にコンピテンシーの要素（⑥～⑩）がリテラシーの要素（①～⑤）よりも高い評価となっている。令和2年度と比較して評価結果が下がったのは「④理解・判断力」「⑦学ぶ姿勢・向上心」「⑨コミュニケーション能力」である。



(4) 改善すべき事項（自由記述）※資料参照

「非常に意欲的である」「表情が温厚である」「誠実である」等、肯定的な評価を多く受けている。
しかし、一方では改善すべき事項として次のとおり意見をいただいた。

① 一般常識・教養・マナーに関すること

「基礎学力が低下している」「遅刻の回数が多い」「相手に合わせた接し方、話し方ができていない」等

② 問題解決能力に関すること

「指示待ちの状況になっている」「問題点を解決できる思考力を養ってほしい」「臨機応変に対応できる処理能力を身につけて欲しい」等

③ 学ぶ姿勢・向上心に関すること

「助言を素直に聞き入れ行動に移すと成長できる」「真摯に取り組もうとする姿で向上できる」等

(5) 本学の教育内容・教授方法等についての意見（自由記述）

「学生と先生方の信頼関係が深い」「挨拶の仕方、書類の書き方等を細かく指導されている」等、肯定的意見もがあるが、その一方で、「一般常識、教養、マナーの部分の強化」「志向する業界研究の強化」「ピアノ等、専門的技術の向上」等について更なる改善が望まれるとの意見もいただいた。